

株式会社オキサイド
代表取締役社長 山本正幸

「経済安全保障重要技術育成プログラム」に採択されました

株式会社オキサイド（本社：山梨県北杜市武川町牧原 1747 番地 1 代表取締役社長 山本正幸）は、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、「JST」）が公募した「経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）」（以下、「本プログラム」）に採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。本プログラムは、我が国が国際社会において中長期的に確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術について、研究開発及びその成果の活用を推進するものです。

記

1. 社会的背景とテーマの概要

この度、当社は経済安全保障重要技術育成プログラムの「次世代半導体微細加工プロセス技術」に関する研究開発構想において、「波長 170nm 台コヒーレント光発生用非線形光学素子及びその応用の開発（仮称）」というテーマで採択されました。

次世代半導体微細加工プロセスにおいては、露光マスクのパターンやウエーハ検査の高精度化が必要とされています。その実現には、検査用レーザ光源の波長を現在の最先端である 200 ナノメートル前後から 170 ナノメートル台への大幅な短波長化が不可欠です。そのため、波長 170 ナノメートル台コヒーレント光^{（注）}は、次世代リソグラフィにおける検査光源や光電子分光などの分野で世界的に大きな注目を集めています。

本テーマでは、当社が強みとする高品質結晶成長技術、分極反転技術を駆使することで波長 170 ナノメートル台コヒーレント光を発生する非線形光学デバイスの構築、それによる波長 170 ナノメートル台コヒーレント光源の実現を目指します。本研究開発を通じて、当社は、我が国の技術的優位性を確保するとともに、半導体産業の競争力強化を図り、日本の経済安全保障に貢献いたします。

（注）コヒーレント光は、波長が揃い、位相が一致した規則正しい光のことです。普通の光に比べて、レーザ光のように一点に集光しやすく、精密な加工や計測に向いています。

2. 委託研究開発の概要

(1)	委託機関	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
(2)	プログラム名	経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program） 「次世代半導体微細加工プロセス技術」
(3)	研究開発課題	波長 170nm 台コヒーレント光発生用非線形光学素子及びその応用の開発 （仮称）
(4)	期間	最長 5 年（3 年度目以降の委託については一定の条件があります。）

JST 経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）ウェブサイト

URL：<https://www.jst.go.jp/k-program/index.html>

本件に関する問い合わせ先
株式会社オキサイド IR 担当
ir@opt-oxide.com
TEL: 0551-26-0022

【会社概要】

当社は、国立研究開発法人物質・材料研究機構発のベンチャー企業として 2000 年に設立。山梨県北杜市に本社と工場、神奈川県横浜市保土ヶ谷区に事業所があります。

創業以来、当社は単結晶・レーザのグローバルニッチトップカンパニーを目指し、「研究成果を社会に還元し、キーマテリアルを世界に向けて発信する」、「顧客へマテリアルソリューションを提供し、社会の発展に貢献する」、「単結晶を核とした製品を開発し、未来の市場機会を創造し続ける」という経営理念の下、単結晶から光学分野のバリューチェーンに沿って、常に単結晶開発や光学分野での技術で強みを生かせる事業に注力してまいりました。

主力は、21 世紀の光の時代に必要不可欠な単結晶・光部品・レーザ光源・光計測装置の開発・製造・販売で、「新領域」、「半導体」、「ヘルスケア」の 3 つの事業を展開しています。

2014 年には経済産業省の「グローバルニッチトップ 100 選」に選定、2021 年 2 月には Forbes Japan 主催の「スモール・ジャイアンツ アワード 2021」のグランプリを受賞しました。

当社の特徴は、(1)単結晶・光学関連の専門家・技術者が多数在籍し、研究開発型の事業会社として成長している、(2)国内外の企業から光学関連技術を買収し製品化・事業化するノウハウを有している一ことであり、これらが独創性や競争優位性の源泉となっております。